２０１８年度事業報告書

（2018年4月1日～2019年3月31日）

特定非営利活動法人まちづくりスポット

■１　交流スペースの利用促進に係る事業

１－１　交流スペース　自主企画

市民が気軽に立ち寄れる交流スペースを運営。
まちづくりスポットの活動やＮＰＯ団体の活動を周知する。

▲まちスポ飛騨高山春休み親子週間

▲まちスポ飛騨高山利用会員交流会

▲飛騨高山雛祭り展示

●事業概要

交流スペースまちスポ飛騨高山の周知や、まちづくりスポットの活動、まちスポ飛騨高山利用会員とイベントを開催し、訪れた人に市民活動に関心をもってもらうきっかけとする。

●主催イベント内容

	日時／場所	タイトル／内容	参加数
①	①2018年4月29日（日）13:30～15：00 まちスポ飛騨高山 ②2018年9月8日（土）13:30～15:00 高山市民文化会館4-9	**『まちスポ飛騨高山利用会員交流会』** まちスポ飛騨高山利用会員が集まり、団体の活動内容や活動の想いを共有した。2回目の交流会では、フレスポ周年祭開催へ向けて自由にアイディアを出し合った。	①7名 ②20名
②	2018年3月1日（金）～2019年4月3日（水） まちスポ飛騨高山	**『飛騨高山雛祭り展示』** まちスポサポーター（3名）と共に雛祭りの歴史や食べ物に関する展示を日本語、中国語、英語で作成。高山市主催の「飛騨高山雛祭り」の開催に合わせて、ガラススペースに展示をした。	延べ 1,238名
③	2018年3月23日（土）～2019年3月31日（日） まちスポ飛騨高山交流スペース 【協力団体】アートまつり実行委員会、徳田蒼春書道教室、高山市民防災研究会、B-PARTY、りほりとみっく教室、すまいるデザインプロジェクト、ダンデライオン 【協賛】フォトスタジオチャオ高山店	**『まちスポ飛騨高山春休み親子週間』** 飛騨地域の子育て支援で活動する利用会員と協働し、飛騨地域の親子を中心とした市民に向けて、交流とつながりづくりの場を提供した。	延べ 616名

●評価と課題

2018年度は利用会員やサポーターと協力し、自主企画イベントを開催した。まちスポスタッフでは想像できなかった豊かなアイディアがたくさん創出された。複数の団体に関わっていただいたことで、普段交流することのできない「世代」や「分野」との交流が多く生まれたように感じる。今後は、利用会員やサポーターが主役の交流スペースの運営を目指し、それぞれの魅力をより発揮できるようなコラボの提案やサポーターの活用に力を入れていきたい。

１－２　交流スペース　利用登録団体の活動

市民活動促進のため、交流スペース「まちスポ飛騨高山」の場を提供し、地域の交流が生まれる活動を応援

▲共通の趣味をもつ仲間が集い、展示会を開催

▲作品展示の様子

▲親子向けワークショップの様子

●事業概要

飛騨地域の市民活動の発展を目指し、まちづくりスポットが管理運営する、商業施設内の交流スペースの貸館を行う。また、利用団体が交流スペースを利用するだけでなく、活動が広がるために広報や運営の相談も行う。

●2018年度利用団体登録一覧（新規11件(〇囲い)・継続27件）

	団体名	活動分野
1	生協コープぎふ飛騨支所	保健・医療・福祉
2	NPO法人　ムラのミライ	国際協力
3	（株）GOAHEAD WORKS	文化・芸術・スポーツ
4	アニマルレスキュー飛騨	保健・医療・福祉
5	(公社)認知症の人と家族の会　岐阜支部	保健・医療・福祉
6	りほりとみっく教室	子育て支援
7	飛騨産業（株）	文化・芸術・スポーツ
8	NPO法人活エネルギーアカデミー	環境保全
9	ClaiRe	男女共同参画
10	高山市民防災研究会	災害救援
11	コープぎふ・おたがいさまひだ	保健・医療・福祉
12	てづくりマーケット	経済活動活性化
13	NPO法人飛騨高山わらべうたの会	子育て支援
14	童心・飛騨高山太鼓団	文化・芸術・スポーツ
15	すまでざ-Smile Design Project-	文化・芸術・スポーツ
16	おはなしネット　ことだま	文化・芸術・スポーツ
17	HIDAKKO PROJECT.	まちづくり
18	飛騨高山ボードゲームの会	文化・芸術・スポーツ
19	ハンドメイド雑貨のお店　soror	経済活動活性化
20	NPO法人ほのぼの朝日ネットワーク	保健・医療・福祉
21	高山市役所選挙管理委員会事務局	まちづくり
22	占いビュッフェ	文化・芸術・スポーツ
23	アキヨガ	文化・芸術・スポーツ
24	NPO法人さんしょうの会	保健・医療・福祉
25	飛騨アニメファンイベント実行委員会	まちづくり
26	助産ケアルーム　和み	子育て支援
27	徳田蒼春書道教室	文化・芸術・スポーツ
㉘	Owls	保健・医療・福祉
㉙	ともときファーム　高山ウリス	地域振興
㉚	ラ.ベル.ブーケ	文化・芸術・スポーツ
㉛	West Wind of Session	文化・芸術・スポーツ
㉜	B-Party	文化・芸術・スポーツ
㉝	ダンデライオン	子育て支援
㉞	古川製材株式会社4u DESIGN STUDIO	経済活動活性化
㉟	産婆サロンOHANA	子育て支援
㊱	全国高校生衛星生中継	まちづくり
㊲	池坊斐太支部青年部	文化・芸術・スポーツ
㊳	笑顔塾	人権擁護・平和推進

●評価と課題

2017年度利用会員（45団体）のうち、2018年度継続して登録したのは27団体。継続率は増加（2017年度48%→2018年度60%）したが、 新規会員登録数が11団体と伸び悩んだ。未継続団体のうち58%が2017年度に新規登録した利用会員だったことからも、新しく活動を始めたい団体・市民へのフォロー不足が感じられる。利用規約の見直しや活動後のフォロー等、新規・継続会員ともに利用しやすい場の提供を目指していきたい。

1－3　交流スペース来館者数

1．2018年度　まちスポ飛騨高山　来館者数

■月別来館者数　（目標15,000人以上）　（人）

月	開館日数	午前(9-12) 男	午前(9-12) 女	午前(9-12) 子	午前(9-12) 計	午後(12-16) 男	午後(12-16) 女	午後(12-16) 子	午後(12-16) 計	夕方(16-18) 男	夕方(16-18) 女	夕方(16-18) 子	夕方(16-18) 計	総計 男	総計 女	総計 子	総計 計	前年比
4月	26	55	106	205	366	92	125	116	333	30	40	71	141	177	271	392	840	-108
5月	26	48	95	72	215	118	137	117	372	29	59	75	163	195	291	264	750	-412
6月	26	173	375	261	809	227	490	231	948	42	139	117	298	442	1,004	609	2,055	276
7月	26	53	242	134	429	111	228	160	499	51	90	132	273	215	560	426	1,201	159
8月	27	158	332	126	616	272	438	155	865	102	205	78	385	532	975	359	1,866	1,063
9月	26	70	172	95	337	106	211	125	442	73	90	115	278	249	473	335	1,057	138
10月	26	199	493	434	1,126	314	729	692	1,735	54	85	102	241	567	1,307	1,228	3,102	1,871
11月	27	47	119	98	264	114	152	138	404	20	40	79	139	181	311	315	807	-1,241
12月	22	46	135	99	280	48	147	120	315	16	32	29	77	110	314	248	672	-745
1月	23	28	58	51	137	57	76	69	202	13	19	35	67	98	153	155	406	-762
2月	24	38	211	129	378	83	247	196	526	14	35	41	90	135	493	366	994	-168
3月	27	93	204	194	491	126	216	230	572	17	49	72	138	236	469	496	1,201	498
計	306	1,008	2,542	1,898	5,448	1,668	3,196	2,349	7,213	461	883	946	2,290	3,137	6,621	5,193	14,951	569

■1ヶ月あたりの平均来館者数

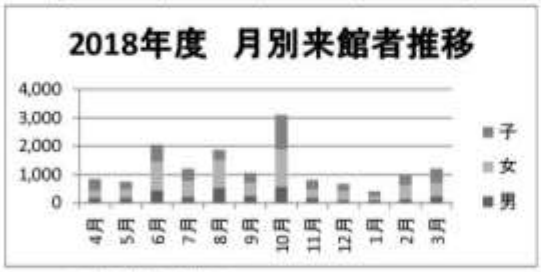
平均	84	212	158	454	139	266	196	601	38	74	79	191	261	552	433	1,246	47

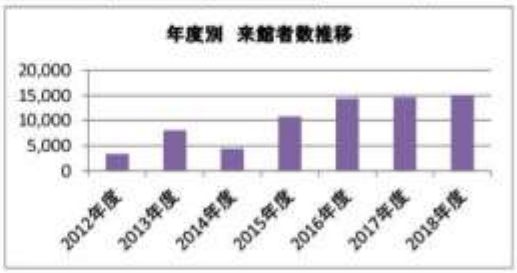
■1日あたりの平均来館者数

4月	2.1	4.1	7.9	14.1	3.5	4.8	4.5	12.8	1.2	1.5	2.7	5.4	6.8	10.4	15.1	32.3	-4.2
5月	1.8	3.7	2.8	8.3	4.5	5.3	4.5	14.3	1.1	2.3	2.9	6.3	7.5	11.2	10.2	28.8	-14.2
6月	6.7	14.4	10.0	31.1	8.7	18.8	8.9	36.5	1.6	5.3	4.5	11.5	17.0	38.6	23.4	79.0	13.1
7月	2.0	9.3	5.2	16.5	4.3	8.8	6.2	19.2	2.0	3.5	5.1	10.5	8.3	21.5	16.4	46.2	7.6
8月	5.9	12.3	4.7	22.8	10.1	16.2	5.7	32.0	3.8	7.6	2.9	14.3	19.7	36.1	13.3	69.1	38.2
9月	2.7	6.6	3.7	13.0	4.1	8.1	4.8	17.0	2.8	3.5	4.4	10.7	9.6	18.2	12.9	40.7	5.4
10月	7.7	19.0	16.7	43.3	12.1	28.0	26.6	66.7	2.1	3.3	3.9	9.3	21.8	50.3	47.2	119.3	73.7
11月	1.7	4.4	3.6	9.8	4.2	5.6	5.1	15.0	0.7	1.5	2.9	5.1	6.7	11.5	11.7	29.9	-59.1
12月	2.1	6.1	4.5	12.7	2.2	6.7	5.5	14.3	0.7	1.5	1.3	3.5	5.0	14.3	11.3	30.5	-28.5
1月	1.2	2.5	2.2	6.0	2.5	3.3	3.0	8.8	0.6	0.8	1.5	2.9	4.3	6.7	6.7	17.7	-31.0
2月	1.6	8.8	5.4	15.8	3.5	10.3	8.2	21.9	0.6	1.5	1.7	3.8	5.6	20.5	15.3	41.4	-7.0
3月	3.4	7.6	7.2	18.2	4.7	8.0	8.5	21.2	0.6	1.8	2.7	5.1	8.7	17.4	18.4	44.5	18.5
平均	3.3	8.3	6.2	17.8	5.5	10.4	7.7	23.6	1.5	2.9	3.1	7.5	10.3	21.6	17.0	48.9	2.2

■年度別来館者数推移　※2012年度は2012年11月～2013年3月の4か月間

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
計	3,355	8,030	4,392	10,816	14,382	14,614	14,951	





■時間帯別来比率

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
午前	―	40.47%	36.63%	35.07%	35.14%	38.29%	**36.44%**		
午後	―	48.54%	51.05%	51.71%	50.43%	48.65%	**48.24%**		
夕方	―	10.98%	12.32%	13.22%	14.43%	13.06%	**15.32%**		

■男性・女性・子ども別来比率

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
男性	―	21.66%	29.55%	17.34%	17.96%	19.48%	**20.98%**		
女性	―	47.98%	50.71%	48.24%	46.99%	45.90%	**44.28%**		
子ども	―	30.36%	19.74%	34.25%	35.05%	34.62%	**34.73%**		

■2018年度来館者数振り返り・課題

振り返り

サブカル交流祭やまちスポ飛騨高山文化祭、春休み親子週間などファミリーで参加できるイベントの開催により年間来館者数が増加した。以前から課題であった男性の来館者比率については、利用会員による男性が参加しやすいイベントの開催によって上昇傾向にある。

課題

日中と比較して、夕方の来館者数が少ないことが課題。夕方の買い物の時間に合わせたイベントをまちスポが実施し活用事例を作り、利用会員やサポーターが積極的に利用しやすい環境を作る。

１－４　交流スペース利用登録団体推移

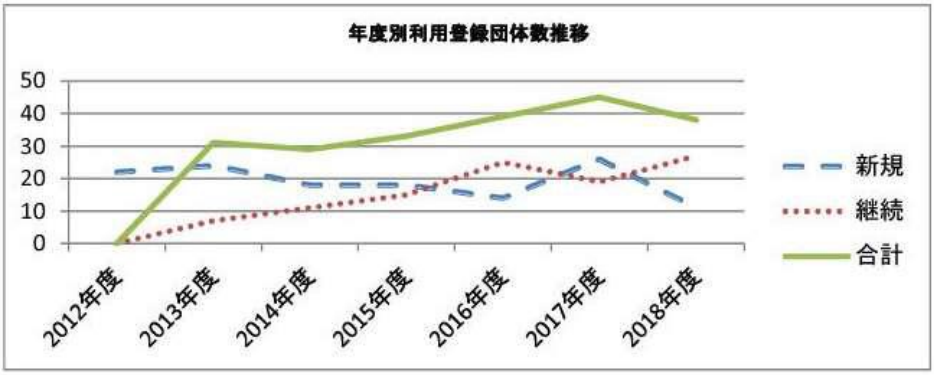
２．2018年度　まちスポ飛騨高山　利用登録団体　推移

■月別利用団体登録件数　（団体）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
計	4	5	4	0	2	4	2	6	3	5	2	1	**38**	−7
新規	1	3	1	0	1	1	1	0	1	1	1	0	**11**	−15
継続	3	2	3	0	1	3	1	6	2	4	1	1	**27**	8

■年度別利用登録団体数推移　※2012年度は2012年11月～2013年3月の4か月間

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
新規	22	24	18	18	14	**26**	**11**		
継続	0	7	12	15	25	**19**	**27**		
合計	22	31	30	33	39	**45**	**38**		
未継続	—	15	19	15	8	20	18		



■分野別登録団体数　※2012年度は2012年11月～2013年3月の4か月間

分野	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
保健・医療・福祉	5	8	3	5	3	9	6
社会教育	1	1	1	1	0	0	0
まちづくり	1	3	1	1	2	4	4
観光振興	0	0	0	0	1	0	0
地域振興（農山漁村・中山間地）	1	2	0	1	0	0	1
文化・芸術・スポーツ	4	7	4	5	12	13	13
環境保全	1	2	1	2	2	3	1
災害救援	0	0	1	2	2	1	1
安全活動	0	0	0	0	0	0	0
人権擁護・平和推進	0	2	0	0	0	0	1
国際協力	4	2	2	3	2	1	1
男女共同参画	1	3	5	6	4	3	1
子育て支援	3	1	10	5	6	5	6
情報化社会	1	0	0	0	0	0	0
科学技術振興	0	0	0	0	1	1	0
経済活動活性化	0	0	0	0	3	4	3
雇用拡充支援	0	0	0	1	0	0	0
消費者保護	0	0	1	0	0	0	0
NPO助言・支援	0	0	1	1	1	1	0
総計	22	31	30	33	39	45	38

振り返り

前年に比べ継続数は上昇（2017年度19団体）したが、新規会員数が大幅に減少した。新しく活動始めたい方へのPR方法を要検討。会員数増加を目指し取り組みたい。

2－1　住民の語り場づくり

誰もがまちづくりに参加しやすいまちを目指し、まちに対する思いや意見を交換し合うこと目的に定期開催

●事業概要

「地域のまちづくりを考える場で若者の意見を聞ける機会が少ない」という市民の声を受け、2013年度より継続的に実施する若者の意見交流の機会「ワールド・バーin飛騨高山」。今年度はさらに対象を拡大し、「地域と繋がりたい」「なにかやってみたい」という想いをもった方が誰でも参加できる機会をつくった。参加者が同じ交流会に参加した仲間に声をかけ、別の交流会を初めて主催した事例も生まれた。

▲ヨガ座談会

▲ワールドバー 多文化共生編

▲移住者交流会

●事業の成果

	日時/場所	タイトル／内容	参加数（初）
1	5月31日（木）18:30～21:00 移住交流施設 神明寮	移住者交流会「移住者で食卓を囲むかい」	11名（4名）
2	6月14日（木）13:30～15:00 まちスポ飛騨高山	ヨガ座談会 発案：田中晃子氏（まちスポ利用会員）	4名（4名）
3	8月11日（土）18:00～20:00 Fresh Lab.TAKAYAMA	ワールドバー 多文化共生編 「世界の家庭料理をつくって一緒に食べようの会 第二弾」 協力：長尾朋子氏	8名（7名）
4	9月18日（火）13:30～15:00 NOZOMIHOME	第二回 ヨガ座談会 発案：田中晃子氏（まちスポ利用会員）	8名（7名）
5	11月22日（木）19:00～21:30 café＆studio nock nock	移住者交流会「移住者で食卓を囲むかい」 協力：中嶋大倫氏（過去参加者） 飯島莉子氏（過去参加者）	14名（11名）
6	12月26日（水）19:00～21:00 福太郎	移住者交流会「移住者で飛騨の味を楽しむかい　五平餅編」 発案：徳原裕治氏（過去参加者）	10名（8名）
7	2月16日（土）11:00～14:00 飛騨高山森のエコハウス	移住者交流会「移住者で焼き芋を焼いてみるかい」 発案：比留木恵子氏（飛騨「未来の地域編集部」） 岩塚久案子氏（過去参加者） 協力：久保田有香氏（過去参加者）	14組 32名（29名）
8	2月23日（土）11:30～14:00 家族が集う喫茶店 あん	みんなおいでよ！飛騨「未来の地域編集部」の新年会 発案：飛騨「未来の地域編集部」	12名（3名）

◆評価と課題　2017年度より、いままで参加したことのない人へのアプローチを強化してきた。2018年度は更に、参加するだけでなく、企画や運営にも地域の人を巻き込めるよう企画した。今後、発案・企画・運営など一貫して出来る人が増え、誰かが挑戦したいと思ったときに、周りの人が手助けする連鎖が生まれるよう仕掛けていきたい。

２－２　家族介護者のための場づくり ①介護のためのほっとする談話室

誰もが気軽に立ち寄れる介護についての ちょっとした悩みや気持ちをお話しできる場

●事業概要

2017年9月より高山市の「家族介護者相談室」事業を受託。2018年度は、まちスポでの開催を毎月20日に固定したことや、介護している家族の方がより相談に来やすい市内各所の施設やスーパーへ出かけ、出張談話室も実施した。予約不要、参加費無料。

▲出張談話室の様子

●事業の成果

日程		テーマ	開催場所	来場数
4月	20日(金)	介護談話室	まちスポ飛騨高山	８名
5月	12日(土)	家庭でできる簡単リハビリ・ストレッチ&食事の悩み相談	駿河屋 アスモ店２階	１９名
	13日(日)			５名
	20日(日)	介護談話室	まちスポ飛騨高山	１４名
6月	4日(月)	整膚で心もカラダも癒し 日頃の疲れを解消	ファミリーストア さとう石浦店	８名
	5日(火)			１０名
	20日(水)	介護談話室	まちスポ飛騨高山	３名
7月	6日(金)	症状にあった オムツの紹介	バロー高山 １階	１０名
	7日(土)			１６名
	20日(金)	介護談話室	まちスポ飛騨高山	３名
8月	20日(月)	介護談話室	まちスポ飛騨高山	５名
	21日(火)	熱中症の予防と対策について	駿河屋 エブリ東山店	１４名
	22日(水)			１４名
9月	13日(木)	ほっとする介護・健康談話室	ファミリーストア さとう桐生店	１４名
	14日(金)			１０名
	20日(木)	介護談話室	まちスポ飛騨高山	３名
10月	20日(土)	介護談話室	まちスポ飛騨高山	６名
	20日(土)	福祉フェスティバル	社会福祉協議会	２１名
	27日(土)	介護用品相談会	ピュア高山 ３階	９名
	28日(日)			５名

日程		テーマ	開催場所	来場数
11月	11日(日)	いい日、いい日 介護の日	まちスポ飛騨高山	20名
	20日(火)	介護談話室	まちスポ飛騨高山	４名
	28日(水)	認知症なんでも相談会	高山市図書館（煥章館）	１８名
	29日(木)			１４名
12月	1日(土)	ほっとする介護・健康談話室	アピタ飛騨高山店	１２名
	2日(日)			７名
	20日(木)	介護談話室	まちスポ飛騨高山	４名
1月	17日(木)	ほっとする介護・健康談話室	NPO法人あんきや ゆいの家	２名
	18日(金)			３名
	20日(日)	介護談話室	まちスポ飛騨高山	１１名
2月	7日(木)	ほっとする介護・健康談話室	駿河屋 エブリ東山店	７名
	8日(金)			１１名
	20日(水)	介護談話室	まちスポ飛騨高山	１１名
3月	7日(木)	ほっとする介護・健康談話室	飛騨高山 ひだまりの湯	８名
	8日(金)			７名
	20日(水)	介護談話室	まちスポ飛騨高山	４名

●評価と課題

出張談話室を実施したことで、談話室の存在を市民の方に以前より周知ができた。また、介護に関する相談のほか、介護している方自身の病気のこと、辛さ、大変さ、憤りなどの話しも伺うことができた。より多くの市民に周知できるよう今後も継続して行う。

２－３　地域産業活性化支援　①ワーキングホリデーin飛騨高山

夏場の繁忙期の人手確保と飛騨地域の農業を知り、将来の担い手を育成

●事業概要

今年で4期目を迎えるワーキングホリデーin飛騨高山。当初は夏場の繁忙期の人手不足を解消したいという思いで始まった事業だが、飛騨に関心のある若者を育てたいと受入れ側の思いが変化している。今年は夏休み期間だけでなくその前後にも人がほしいと期間を実験的に拡大。結果は応募はなかったが、この結果をみて知り合いの農業高校との連携を翌年やろうなど農家自身の積極的な動きが出ている。また、JA選果場見学など地域連携した動きが受入れ側から積極的に始まっている。

▲収穫や選果、箱詰めなど様々な作業を体験する

●事業の成果

◆開催期間	2018年7月1日（日）～10月17日（金）	◆受入農家数	８軒
◆開催頻度	1クール10日間（全12クール）	◆参加学生数	51名
◆主催	飛騨高山受入れ農家組合	◆協力団体	高山市／認定NPO法人まちづくりスポット

◆評価と課題　期間の見直しや学生が滞在しやすいような生活面（食材の支給）のフォロー、地域を巻き込んだ交流会の開催やJA選果場見学など、双方にとって充実した内容になる提案が農家からどんどん出てくるようになった。事務・運営面でより地域との連携を目指した動きをとっていきたい。

２－４　移住・定住促進　　グッとくる飛騨

飛騨地域創生連携協議会委託事業
飛騨地域へ移住・定住を考える広域的な取り組みを実施

●事業概要

飛騨地域では、2015年より岐阜県と飛騨地域の3市1村（高山市、飛騨市、下呂市、白川村）が連携し、「飛騨地域創生連携協議会」を設立。移住・定住に係わる取り組みを行っている。4年制大学がない飛騨地域では、高校卒業と共に進学や就職で地元を離れ、戻って来られない人材が多くいる。戻って来られない理由として仕事、生活情報の不足は大きな理由にあげられる。今年度は、仕事情報の発信、地元の人による飛騨地域の魅力情報の発信を主軸に行う事業を2018年度より受託した。

▲求人情報のつくり方セミナーの様子

２－４　移住・定住促進　グッとくる飛騨
飛騨地域仕事探しサイトの立ち上げ

移住者向けに届く
仕事探しサイトの立ち上げ

●事業概要

株式会社ビズリーチが運営する求人検索エンジン「スタンバイ」に飛騨地域仕事探しサイト「飛騨で働く！求人特集」ページを12月3日にオープン。42求人が掲載。サイトには、職種、給与をはじめ条件だけでなく、ビジョンや事業内容など、地域情報を得にくい移住希望者に向けて企業の魅力が伝わる内容を盛り込むことを意識し求人掲載のフォローアップを行った。

●事業の成果

◆セミナー開催	2018年11月13日(水)-15日(金)(高山市、飛騨市、下呂市)
◆参加人数	延べ64社71名
◆掲載数	28社42件（3月26日まで）
◆評価と課題	求人掲載し慣れてしない企業も多く、魅力情報を明文化が困難だった。条件の見直しももちろんのことながら、積極的な情報発信ができるようなサポートが今後必要となってくる。

２－４　移住・定住促進　グッとくる飛騨
民間事業者課題解決セミナー等の開催

首都圏在住者との接点をもつ
マッチングセミナーの開催

●事業概要

飛騨地域の企業と首都圏で移住に興味のある人と接点をつくるイベントを開催。しごとバーでは、移住ではなく地方暮らしや農業など広く興味を持ってもらうためのイベントを、飛騨移住セミナーでは、飛騨や移住に興味のある人向けのイベントとして実施。その後、関心のある企業へのインターンなども行った結果、1名が3月に(有)舩坂酒造店へ就職。移住に至った。

●事業の成果

◆実施日時	
2018年12月12日(水)20:00～22:00	しごとバー パプリカ農家の秘密ナイト @リトルトーキョー 参加者数：18名
2019年1月26日(土)16:00～20:00	飛騨移住セミナーinTOKYO @EDITORY神保町 参加者数：20名

２－４　移住・定住促進　グッとくる飛騨 飛騨「未来の地域編集部」

飛騨地域の暮らしを住民目線で全国に発信 主婦・サラリーマン・Iターン等、それぞれの視点で取材活動を実施

●事業概要

高山市・飛騨市・下呂市・白川村の「暮らし情報」を取材し、ブログ形式で記事にまとめ、飛騨地域移住促進応援サイト「グッとくる飛騨」で発信。メンバーのほとんどが取材活動初心者だったため、定期的に勉強会・交流会を開催。自信を持って取材できるよう技術とチーム力を磨いた。

▲勉強会の様子

●事業の成果

◆実施期間　2019年8月～3月　◆投稿記事数　12本

◆メンバー数　12名　◆勉強会　全3回実施

	タイトル	掲載日	取材地域
①	伝えるのが肝心！全力で町民がサポートしてくれるそんな町に私は生まれた	2018年12月 1日	飛騨市
②	地域みんなで子育て！！	2018年12月23日	高山市
③	渋谷で生まれ育った男が田舎に移住してきた理由	2018年12月27日	下呂市
④	ザ・リアルスピードラーニング	2019年 1月10日	高山市
⑤	知らないとご近所トラブルに！？雪かきの暗黙のルール	2019年 1月30日	飛騨市
⑥	我ら雪ん子　寒いのなんてへっちゃらだい！！	2019年 2月 9日	高山市
⑦	町内行事で嬉し泣き！！	2019年 2月10日	飛騨市
⑧	都会っ子、雪国になじめるか！？	2019年 2月14日	高山市
⑨	IでもUでもない！マスオターン【前編】	2019年 2月22日	下呂市
⑩	IでもUでもない！マスオターン【後編】	2019年 3月 4日	下呂市
⑪	薪ストーブではスローライフはおくれない！？	2019年 3月 9日	飛騨市
⑫	白川村での買い物方法とは？？	2019年 3月24日	白川村

◆評価と課題　記事のアイディア出し～取材～記事作成～投稿までの一連の流れを探り探りで行ったため、スケジュールが前後したが、それぞれの作業に必要な時間、道具がわかってきたため、来年度以降の活動に活かしていきたい。

２－４　移住・定住促進　グッとくる飛騨 飛騨地域移住促進応援サイトの運営

飛騨地域移住促進応援サイト「グッとくる飛騨」の運用・保守

●事業概要

飛騨への移住を検討している人に向けたホームページを飛騨地域創生連携協議会で運用している。その保守管理と使いやすくするための改善を行った。

●事業の成果

◆実施期間　2019年8月～3月

◆実施内容　首都圏への新聞紙折込プロモーション

他、運用・保守に係る作業

◆評価と課題　首都圏へのプロモーションの効果として、移住相談や掲載したイベントへの申込み問合せが多数あった。

２－４　移住・定住促進　グッとくる飛騨 会議運営支援

会議の運営サポート

●事業概要

飛騨地域創生連携協議会との会議の運営を行った。委託期間中に全4回開催。各事業の進捗報告や検討事項に関する協議の進行を行った。

●事業の成果

◆実施日　第一回　2018年 8月27日（月）

第二回　2018年10月22日（月）

第三回　2018年11月28日（水）

第四回　2019年 2月25日（月）

◆実施内容　進行、事業の進捗報告　など

2－4　移住・定住促進　②神明寮

移住希望者向け、お試し移住体験施設の設立。

●事業概要

岐阜県内でも移住希望者が多い飛騨地域。飛騨地域への移住を安心して、ミスマッチを少なくするための施策として移住交流施設「神明寮」を新たにつくりました。この寮には、移住希望者および当団体に研修に来る人が宿泊できる。
寮には、移住経験のある管理者が常駐しており、飛騨地域の生活について話が聞ける他、当団体が企画する「移住者交流会」の案内や先輩移住者や町内の方などの紹介、職場体験や家探しなどのコーディネートも行っている。
（2018年7月　国土交通省　住宅宿泊管理業者登録）

▲シェアハウスタイプの寮になっています

●事業の成果

◆開催期間　2018年8月～　　◆利用者数　15名

◆評価と課題　観光に興味があるが飛騨と接点のない学生にとって1泊2日の企業見学は参加しやすいものだった。一方で、一度接点ができた彼らとどのように関係を深めることができるか企業とともに課題が残った。

2－5　地域特産物・農作物の活性化支援　①こだわりお野菜ミニマルシェ

「生産者と消費者」「農家同士の交流」「次世代のキャリア形成」を目的に農家のこだわり野菜の販売会を開催

●事業概要

昨年度に引き続き、地元農家と交流し、地元野菜のよさを感じる「こだわりお野菜ミニマルシェ」を開催。より、日常的に農家との交流が図れるよう月1開催、場所もまちスポ交流スペースからお客さんの多いエブリ側のスペースに移動した。また、地元飲食店との繋がりがほしいという農家の声をもとに、実際に畑見学にシェフと良く見学ツアーを開催。栽培方法を知りながら取引にも繋がった。

▲飛騨地域内のシェフを集めて畑見学ツアーを開催

●事業の成果

	こだわりお野菜ミニマルシェ	料理人と行く！農家見学ツアー
◆開催期間・開催場所	2018年6～10月第4土曜日 @フレスポ飛騨高山内駐輪場／Vdrug前通路	2018年8月 1日(水)@東農園 8月28日(火)@トマトファーム飛騨 9月18日(火)@ソヤ畦畑
◆参加者数	延べ565名	延べ20名
◆評価と課題	農家からは、日本ではこうした「マルシェ」の形式は文化的にもなかなか取り入れづらいが、ぜひ継続してほしい。今後開催するのであれば、野菜のみは厳しい。様々な販売者と提携したり、飛騨の人は飛騨の物よりも外の物の方がほしいのでは、などといった意見があった。	

２－６ 地域文化・芸術の活性化支援 飛騨高山サブカル交流祭

地域にある「文化・芸術」とそれらの魅力に気づき「発信や保存活動をしている人たち」への理解を深める

●事業概要

アニメ文化の一般市民への理解・普及活動を行う「飛騨アニメファンイベント実行委員会」のアニメ文化は地域振興の一助を担えるという思いを受けて同実行委員会と連携しイベントを行った。当法人が主催としてイベントを行うことでアニメに関心のない多様な市民・団体や事業者に向けてもアニメ文化を発信。意識調査を実施した。本事業を通して、誰もが飛騨高山に愛着を持って地域振興の一助を担っていけることを目指した。

▲ステージイベントを観覧する人の様子

●事業の成果

◆開催場所	まちスポ飛騨高山	◆主催	認定NPO法人まちづくりスポット
◆開催日時	6月24日(日)10:00～15:00	◆ボランティア	12名
◆コスプレ参加者	20名（クローク利用者3名）	◆来場者	615名＋6匹
◆協力団体	花里まちづくり協議会（コスプレ着替え会場・花里サロン貸出）／飛騨アニメファンイベント実行委員会（痛車の展示）／あかりんぐ（病弱児のコスプレステージ出演）／おはなしネットことだま（ステージパフォーマンス）／まちのおんがくしつ（ステージパフォーマンス）／アニマルレスキュー飛騨（会場受付・準備）／フレスポ飛騨高山（駐車場一部貸出）　計7団体		

２－７ 新規事業立上げ支援　出張工作教室

地域の子どもたちが楽しめる催しを同じ地域に住む大人が開催するためのお手伝い

●事業概要

「夏休みに学童に通う小学生のための企画が恒常化してしまう。地域の大人や中高生と話したり遊んだりする機会を通して、お互いの視野を広げたい」という相談がきっかけで実現。大八まちづくり協議会主催の工作教室では、同じ地区にある中学校の美術部に協力を依頼し、部員が先生となって工作を行った。作品は同会主催の文化祭にて展示。

▲大八まちづくり協議会工作教室の様子

●事業の成果

実施団体	参加合計
①　7月30日（月）主催：大八まちづくり協議会	19名
①　8月9日（木）　主催：大八まちづくり協議会	25名
②　8月17日（金）主催：大八まちづくり協議会	59名
①　8月22日（水）主催：三枝まちづくり協議会	名

３－１　企業とNPOの協働支援　①大和リース㈱福岡支社

福岡市東区下原における交流拠点「まちスポ」の組成支援

●事業概要

大和リース㈱福岡支社が管理・運営するブランチ福岡下原が2018年11月30日に開業。同施設にNPOの活動拠点「まちスポ福岡東」の設立および、運営を担う福岡のNPO団体、九州コミュニティ研究所と大和リース㈱福岡支社のコーディネート業務をおこなった。

●事業の成果

◆実施期間	2018年6月1日～2019年3月31日
◆評価と課題	ブランチ福岡下原に開設したまちスポ福岡東は3月までNPO法人九州コミュニティ研究所が運営を担った。4月より両社が協働し新しいNPO法人「アクションタウンラボ」を設立。「孤立させない場所づくり」をミッションにまちスポ福岡東の運営を担っていく。

３－１ 企業とNPOの協働支援　②大和リース㈱岡山支店

岡山市北長瀬における交流拠点「まちスポ」の組成支援

●事業概要

大和リース㈱岡山支店が管理・運営すブランチ福岡下原が2018年6月末に開業予定。同施設にNPOの活動拠点「まちスポ岡山北長瀬」の設立および、運営を担う岡山のNPO団体、岡山NPOセンターと大和リース㈱岡山支店のコーディネート業務をおこなった。

●事業の成果

◆調査期間	2018年6月1日～2019年3月31日
◆評価と課題	ブランチ岡山北長瀬に開設するまちスポでは大和リース㈱岡山支店がNPO法人岡山NPOセンターと協働し、地域の価値を高めるエリアマネジメント団体を設立する予定。地域の課題と社会的事業を担っていく新しい形態のまちスポの設立を引き続き協議し、進めていく。

３－１　企業とNPOの協働支援　③ぎふ太陽の恵みプロジェクト

次世代にクリーンエネルギーの重要性を伝える環境教育保全活動のサポート

●事業概要

大和リース株式会社が管理しているDREAM★Solarぎふ太陽光発電所。地域貢献事業の一環として、「環境と調和する、人に優しい都市岐阜」づくりを推進するため岐阜市の学生を対象に、施設を安全に見学できるよう保全活動のサポートをした。

●事業の成果

◆調査期間	2018年4月1日～2019年3月31日
◆内容	インターンシップに参加した中国人留学生がソーラーカー工作の講座を開催し、その講師としてNPO法人森と水辺の技術研究所の野村氏に協力していただいた。また、このプログラムで岐阜市から応援・支援してもらっていることを地域に広げていくために、ノベルティグッズ(クリアファイル、ステッカー)を作成し子ども達に配布した。
◆評価と課題	電力は利用するだけでなく、地域で生み出し地域に還元するものという考え方が広がり始めているので、ぎふ太陽の恵みプロジェクトを市民による地域限定の狭い範囲で運営していくという方向を今後検討することも考える。

▲クリアファイルは太陽を模したデザイン

3－1　④まちスポとやま　ギャザリングスペース

5．平成30年度(2018-19)年度　ギャザリングスペース・貫通通路利用状況

■月別利用回数

月	開館日数	開館日数	①9:00～13:00					②13:00～17:00					③17:00～21:00					参加人数計
			和室	バル	ギャラリー	貫通通路	計	和室	バル	ギャラリー	貫通通路	計	和室	バル	ギャラリー	貫通通路	計	
4月	平日	20			3		3			2		2			1		1	100
	休日	10		1	1	1	3		1	1	1	3	1				1	
5月	平日	21			3		3			2		2					0	386
	休日	10		1	1	1	3		1	1	1	3					0	
6月	平日	21		1	4		5			3		3			2		2	49
	休日	9				1	1				1	1					0	
7月	平日	21		13	5		18		15	2		17			1		1	3,347
	休日	10		6			6		6			6					0	
8月	平日	23		19	4		23		19	2		21		1	1		2	2,897
	休日	8		8			8		8			8					0	
9月	平日	18		16	3		19		17	2		19					0	1,319
	休日	12	1	10	1		12	2	10	1		13		1			1	
10月	平日	22		1	6		7		2	5		7		1	1		2	387
	休日	9			3		3			4		4			2		2	
11月	平日	21		1	4		5		1	3		4		2			2	190
	休日	9	1		1		2	1		1		2					0	
12月	平日	19		1	3		4	1	1	2		4	2		2		4	148
	休日	10					0	1				1	1		1		2	
1月	平日	19		2	2		4		2	1		3			1		1	138
	休日	9	1	1	1		3	1	1	1		3					0	
2月	平日	19	1	5	3		9	1	5	3		9	1	5	2		8	197
	休日	9	1				1		1			1		1			1	
3月	平日	20		4	2		6		4	3		7					0	171
	休日	11					0			1		1					0	
計		360	5	90	50	3	148	7	94	40	3	144	5	11	14	0	30	9,329

補足：①+②、②+③、①+②+③利用時には、それぞれ1カウント加算されている。

3－2　NPOの運営支援　①第5回 全国まちスポ交流会

NPOの研修・交流会
全国の8カ所のまちスポが集い、学び、意見を交わした2日間

●事業概要

年に一度開催される全国まちスポ交流会。今年度はNPO法人まちづくりスポット恵み野が主催し、北海道恵庭市恵野で開催。恵野の商店街を実際に歩き、住民による手作りのまちづくりを体感したり、お互いの活動の情報交換を2日間にわたり行った。

●事業の成果

◆開催期間	2019年2月9日（土）～2月10日（日）
◆内容	1日目の中長期計画発表では、第5回全国まちスポ交流会時に立てた3年後のビジョン「現スタッフの既婚率50%以上！！」の振り返りを他の地域のまちスポに先駆けて行い、新たな3年後のビジョン「3つの“しん（自信、安心、関心）”を作ります。」を発表。達成に向けサポーターとの関係性作りなど、綿密な計画を立てて今後行動したい。 その日の夕方からは恵み野の地域活動「シーニックナイト」と、商店街の地域住民が雪国の特性を生かして行う「キャンドルナイト」を実際に体感した。 2日目の研修では、分科会が開催され、NPOスタッフとしてのスキルアップを目的に「地域との関わり方・連携」と「広報・情報発信」について学んだ。
◆評価と課題	今回は進行の裏方や写真撮影を有志のボランティアが行なっていた。個人の思い・特技を多くの方に向けて活かせる機会だった。飛騨地域でも実現できるよう関係性を作っていくことが重要と感じる。

▲キャンドルナイトの様子。住民手作りの雪像、氷でできたランタンが商店街の歩道沿いに並び、住人同士の交流の場となっていた。

▲分科会は日々の業務を振り返る機会となった。

▲シーニックナイトはまちスポ恵み野のあるフレスポ恵み野を使って行われる。参加者は雪でランタンを作って自分の作品が商業施設に並ぶ喜びを味わえる。このイベントにもボランティアが意欲的に関わっていた。

3 － 2　NPOの運営支援　②総曲輪レガートスクエア　官民連携事業

「医療・健康・福祉」をテーマに官民連携の相乗効果で市民への高いQ.O.L（クオリティ・オブ・ライフ）の提供

▲親子ガーデン2018「看護体験」

▲ ままのわ連携「発達を促す運動」

▲まちなかサロンの冬の休み「みんなで書初め練習」

▲冬の健康講座「スポーツジム体験」

●事業概要

官民連携事業では「医療・福祉・健康」をテーマにした多世代が交流できる健康拠点として、特にシニア層、産後期の女性をターゲットにした定期講座を実施した。また、オープン1周年記念として7月に「親子ガーデン2018」や11月には青池学園学園祭と並行して「文化祭」を開催。交流のきっかけとなる賑わい創出を目的に実施した。

●評価と課題

平成３０年度事業では総曲輪レガートスクエアを構成する施設が連携・協力をすることによって様々な講座やイベントを開催することができた。特に1周年を記念した親子ガーデンでは2,000名を超える来場があり賑わい作りという面でも大きな成果を得ることができた。今後の課題としては、中心市街地にある他の施設との連動や単発ではなくイベントの継続性を目的とした企画運営を行う必要がある。

3 － 2　NPOの運営支援　②総曲輪レガートスクエア まちなかサロン

趣味のサークル活動の場だけでなく市民活動促進のための オープンな交流スペースの提供

▲シニアが歌って交流「チャイミー」

▲「子どもの権利条約ネット」
子どもたち自身が権利の重要性を伝える活動

▲「ままあの」家族で音遊び

▲「北陸ビジネス福祉専門学校」
卒業予定の学生がまちなかサロンで地域のシニア層と交流

●事業概要

総曲輪レガートスクエア内まちなかサロンの運営。活動の場を探している方へスペースの提供だけでなく、団体を形成するためのサポートや相談をしつつ人と人が繋がりの強化とコミュニティの形成の拠点を目指す。

●評価と課題

2018年度は登録団体の利用も定着し、協議会主催の企画の増加したことにより、まちなかサロン利用者数は前年比141%増となった。まちなかサロンの存在が地域に順調に浸透してきていると感じる。
今後も利用者が主体的に活動できる環境を作り、地域に新たな交流を生む企画を提供していく必要がある。

3 － 2　NPOの運営支援　②総曲輪レガートスクエア　視察対応

総曲輪レガートスクエアの取り組みを発信するだけでなく、情報交換会の場、外部の視点から再発見をする機会

▲まちなか総合ケアセンターカンファレンスルームにて総曲輪レガートスクエアの概要説明

▲まちなか総合ケアセンター３階産後ケア応援室の見学。

▲富山市医師会看護専門学校にて訪問看護の実習室を見学。

▲ハード面だけでなく景観などの面も案内しながら説明。

●事業概要

総曲輪レガートスクエアのハード面だけでなく官民連携に関してソフト面での連携等について外部者への興味関心を喚起し、先行モデルとして完成度を高めることを目的に実施している。

●評価と課題

平成30年度の実績は22件208名(29年度20件163名)であった。内訳では、民間企業：7、自治体議会：6、行政機関：2、民生児童委員会：2、その他法人：5件となっている。主な視察目的は、施設整備の手法、地域へ与えた影響や官民連携の効果と多岐にわたっている。今後の課題は、富山市も視察を受け入れており、協議会での受け入れに関してはハード面だけでなく、ソフト面での視察対応とその質の向上が課題となっている。

４－１ まちそだて相談

想いを形にするお手伝い。
NPO法人や市民活動団体の設立を後押し。

●事業概要

NPO法人や市民活動団体の設立を検討している個人・団体・サークル活動・ボランティア活動を始めたい人の相談を受付。NPOや市民団体と頼り頼られながら事業を発展させるような関係を築く。

●2017年度相談件数（事業別）

相談内容	件数
①交流スペース利用に係る事業	57件
②まちづくりの推進に係る事業	153件
③ネットワーク事業	16件
④人材育成及び研修に係る事業	67件
⑤広報活動に係る事業	8件
⑥その他目的を達成するための事業	4件
【合　計】	305件

●相談件数のうち　まちスポ飛騨高山利用団体別件数

利用団体名	件数	利用団体名	件数
owls	8件	徳田蒼春書道教室	2件
アキヨガ	5件	ともときファーム高山ウリス	3件
NPO法人思い出の絵本展	2件	高山市民防災研究会	1件
アニマルレスキュー飛騨	6件	あかりんぐ	3件
Ｃｏｍｍｍｙ	4件	NPO法人飛騨高山わらべうたの会	8件
もふっこひだ	2件	NPO法人はたらくねっと	2件
菜の花会	5件	飛騨ママフェスタ実行委員会	3件

■月別まちそだて相談件数　（目標300件）　（件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
相談件数	32	42	29	23	16	27	18	15	12	39	25	27	305	4

■年度別まちそだて相談件数推移　※まちそだて相談2013年度より開始

年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
上期	21	81	88	131	176	**169**
下期	32	43	103	123	125	**136**
合計	53	124	191	254	301	**305**

■2018年度　NPO法人設立一覧

NPO法人すえひろ

■年度別NPO法人設立支援件数推移

年度	数
2013年度	2
2014年度	4
2015年度	3
2016年度	0
2017年度	0
2018年度	1
計	10

■設立支援NPO法人　活動分野

活動分野	数
保健・医療・福祉	3
NPO助言・支援	3
子育て支援	1
まちづくり	1
地域振興（農山漁村・中山間地）	1
災害救援・地域安全	1
計	10

●評価と課題

相談はまちスポ飛騨高山助成金に関する内容や、団体の広報や会計に関する内容が多く見受けられた。また、移住・定住に関する相談も増えた。今後は、相談がありそうな場へ出向いて行き、新たな団体とも繋がりをつくりたい。

４－２ まち・ひとそだて講座　助成金申請へっちゃら講座

市民団体の事業の発展・安定化を目指して、３つのポイントを伝える講座

▲▶事業計画の立て方編の様子

▲お金の考え方編の様子

▲伝え方編の様子

●事業概要

市民団体の事業の発展・安定化を図ることを目的に、「申請書の書き方」「予算の立て方」「プレゼンの方法」など市民団体より要望のあったスキルアップすべき課題を３つの連続講座として開催。

◆開催場所　まちスポ飛騨高山

◆主催　認定NPO法人まちづくりスポット

◆定員　最大６団体
（各団体3名まで参加可能）

◆参加費　各講座１,000円／１団体

日程	タイトル	内容	参加数	パネラー・講師
1月19日（土） 13:30～16:30	事業計画の立て方編	助成金を迷っている方に「先輩団体に学ぶ！計画の立て方と事業の発展に繋がった事例」をテーマに先輩2団体に助成金を受けてどう変わったのかを学んだ。また、参加団体は申請事業を絞り込んだ。	3団体	NPO法人思い出の絵本展 理事長　北平　修子氏 高山市民防災研究会 事務局長　岩茸　伸一氏
2月2日（土） 10:30～12:00	お金の考え方編	会計未経験者にもわかりやすい、助成金申請に必要な予算のたて方や注意点、信頼を得るために必要な日々の会計処理を学んだ。	2団体	認定NPO法人まちづくりスポット 谷前　久美子
2月16日（土） 10:30～12:00	伝え方編	相手に話を聞いてもらえる空気の作り方から相手の心に響くような活動、事業の魅力を最大限に伝えられるプレゼンテーション学んだ。	3団体	ひだ経営コンサルティング 丸山　学氏

●評価と課題

３講座参加した２団体が、この後のまちスポ飛騨高山助成金の申請にも挑戦。申請書類及びプレゼンがわかりやすくまとめられ審査会で高評価だった。先輩団体から直接学べたことが助成金申請へ大きく繋がった。

４－４　視察・研修・講師の受入れ

まちスポの設立経緯や各事業の取り組み事例を紹介

●事業概要

地方自治体や企業、大学生など合計10件（57名）の視察受け入れを行った。
これまでの活動内容や、各事業の取り組み事例などについて紹介。また、スタッフがそれぞれ得意分野を活かし講師として活動を行った。

▲Local　Business　Project視察の様子

▲韓国でまちづくりの活動を行う企業の方々。

▲久々野まちづくり協議会にて宝マップ作成ワークショップをファシリテート。

目的	実施団体	参加合計	合計件数
視察受入	①Local Business Project（2018/5/19・14名）まちスポの活動について ②明治大学　農学部（2018/5/27・2名）ワーキングホリデーin飛騨高山の活動について ③京王グループ（2018/6/15・5名）企業とNPOの地域コミュニティ拠点立上げについて ④国土交通省都市局　まちづくり推進課　官民連携推進室（2018/7/4～5・2名） ⑤Local Business Project（2018/9/1・13名）地域活性に向けた事業内容について ⑥愛媛大学社会協創学部産業マネジメント科（2018/9/5・6名） こだわりお野菜ﾏﾙｼｪについて ⑦立命館大学文学部地域観光学専攻4年ローヴァット理緒奈氏（2018/9/26・1名） 地域に寄り添った活動について ⑧韓国大邱広域市の企業（2018/10/5・11名）まちづくりの活動について ⑨NPO法人地域の未来・志援センター（2018/12/5・2名）今度の活動について ⑩日本福祉大学　杉岡真帆氏（2019/2/13・1名）　まちスポの活動について	57名	10件
講演依頼	①斐太高校講演（2018/5/28・20名） 地域活性化プログラム社会人講話　地域での活動について	20名	1件
講師派遣	①高山青年会議所（2018/4/6・40名） 4月第一定例会「知っているつもり！？飛騨高山」パネリスト ②NPO法人ぎふNPOセンター（2018/7/2・34名） 文書＆チラシの作り方講座「ココロを掴むチラシの作り方講座」 ③NPO法人名古屋NGOセンター（2018/9/15・20名） 次世代のNGOを育てるコミュニティカレッジ(Nたま) ④NPO法人日本NPOセンター（2018/11/22・約200名） 市民セクター全国会議2018「SDGs時代におけるNPOと企業の協働~一歩先へ」 パネリスト ⑤高山市協働推進課（2019/1/20・約100名） 第4回「協働のまちづくりﾌｫｰﾗﾑ」明日から動き出せる協働を　パネリスト ⑥久々野まちづくり運営委員会（2019/2/18・10名） 久々野まちづくり宝マップ作成ワークショップ ⑦高山市協働推進課（2019/2/21・24名） まちづくり活動実践講座「広報紙の作り方講座」１回目　取材、記事作成の方法など ⑧高山市協働推進課（2019/3/6・18名） まちづくり活動実践講座「広報紙の作り方講座」２回目　広報紙、チラシのデザインなど	446名	8件

４－５　インターンの受入れ

留学生を中心に学生を受入れ
新たな地域づくりを担う若者の育成

●事業概要

日本に限らず海外の学生にも日本の地方のNPOや地域づくりに関心を持ってもらおうとインターンシップの受入れを行っている。学生の興味関心に合わせて内容をアレンジしている。
今回は、公益信託アジア・コミュニティ・トラストの2018年度「アジア留学生インターン受入れ助成プログラム」を活用。NPO活動に関心のある留学生を紹介してもらい多文化共生に係る事業に取り組んでもらった。その他にも、イベント企画・運営をやってみたいという想いを受けて、大学での学びを活かし、ソーラーカーづくりの工作教室も実施した。

▲在住外国人へのヒアリングの様子

●事業の成果

中国陝西省（せんせいしょう）西安市出身留学生のインターンシップ受入（徳島大学電力システム専攻）
【期　　間】2018年8月10日（金）～8月31日（金）
【参加理由】日本で勉強できる期間は限られているため、多くの日本人や日本に関心を持って来日している外国人とコミュニケーションをとりたい。
【活動内容】飛騨地域在住外国人22名へのヒアリング調査業務とイベント企画
【感　　想】（抜粋）在住外国人へのヒアリング結果では年代・在住歴による差はあるものの、日本語の問題と日本人の友達が少ないという悩みが総じて多かった。飛騨地域に国籍を越えた交流の場を拡充していく必要性がわかった。

４－５　研修の受入れ

企業とNPOの協働方法や地域づくりの
ノウハウを伝えるための研修や講演を開催

●事業概要

これまで事業で培ってきたノウハウを活かし、「まちづくり」や「協働」などをテーマに研修を行っています。講義・まち歩き・ワークショップなど依頼に沿ってプログラムを構成しています。

●事業の成果

◆愛知県在住大学生の研修受入　期間：2018年9月16日（日）～9月21日（金）
【受入経緯】「NPOについて学びたい、市民活動に携わる人々と交流をしたい」と直接依頼があり実現。
【活動内容】市民活動団体（9団体）の活動に参加、NPO法人の活動の現場を見学

◆Nたま生の研修受入　期間：2018年9月22日（日）～9月24日（月）
【受入経緯】今年で○回目の受入。NPO法人名古屋NGOセンター主催の一年間かけて行うNPO・NGOの研修の一貫で実施。地域づくりの現場研修としてコーディネートを行っている。
【活動内容】みなみまちづくり協議会に協力いただき、まち歩きと企画提案を実施。

４－７　まちスポ飛騨高山助成金

飛騨地域のNPOや市民活動団体に対し
活動の後押しとなる助成金の交付

▲団体による申請内容の発表の様子

●事業概要

まちスポに寄せられた寄付金を原資に、2014年度より飛騨地域のNPOや市民活動団体の活動を応援するため助成金を設置。2017年度より初めてまちスポの助成金を申請する団体対象の「チャレンジ助成金」と、過去にまちスポの助成を受けた団体対象の「ステップアップ助成金」の２種類を設置。新規及び継続した活動の後押しをする。

●事業の成果

団体名	助成事業名	助成金額	種類
Ｃｏ－ｍｏｍｍｙ（コマミー）	【ママと子どものためのフェステバル“コマフェス”開催】 飛騨は子育てしやすい地域と思えるように友だちや仲間づくりの場をママに提供し直接アプローチ。	40,000円	チャレンジ
NPO法人すえひろ	【防災啓発活動のためのリーフレット作成】 あらゆる災害被害の予防・復興・支援に関する事業の行い、安心して暮らせる地域社会の構築に寄与。	50,000円	チャレンジ
ともときファーム高山ウリス	【地域にもっとアピールできる魅力あるパンフレットを作りたい】 安全な野菜づくりと身近な食・農のイベントを通じて自然・命の大切さ、自分たちの生活を見直す情報発信。	50,000円	チャレンジ
やってみよう展実行委員会	【第14回子どもぞうきんコンテスト開催】 子どもがぞうきんをてづくりし甲斐性を身につける。ぞうきんは被災地や福祉協議会などに送っている。	50,000円	チャレンジ
飛騨ママフェスタ実行委員会	【ひだママフェスタ2019開催】 飛騨地域で子育てするママ自身の事業や活動を広めるための発表の場、女性の輝ける場、社会進出のきっかけとなる場の提供。	40,000円	チャレンジ

５－１　メディア掲載・賛助会員・寄付状況

ホームページ・SNSによる情報発信、ボランティア及び賛助会員の募集。会報紙発行による活動報告・情報発信

●事業概要

チラシ作製やホームページ、SNSなど、各種媒体を利用し、イベントや活動内容を報告。フェイスブック配信、新聞・雑誌への掲載、毎月会報を発行し、活動報告と情報発信を行った。

●事業の成果

媒体名	掲載数
新聞	31件
雑誌	26件
ラジオ	4件
【合　計】	61件

迎春準備着々と

門松　親子で製作楽しむ

総曲輪、NPOが指導

富山市の総曲輪レガートスクエアで二十三日、親子連れ五十組が松づくりを楽しんだ。竹林整備の活動をしている市内のNPO法人「Bamboo save the earth」から招かれた講師五人が指導した。

参加した親子は作り方の手順を学んだ後、具羽山で取れた竹を切ったり、竹にしめ縄を付けたりして思い思いの大きさの門松を完成させた。富山市堀川小学校一年の日野雄仁君(六)は「竹を切るのが楽しかった。正月は家の前に飾りたい」と喜んでいた。

親子連れがスクエア内の病児保育施設などを見ることで、理解を深めてもらおうと、同スクエア協議会が主催した。年末年始にかけて他にも、飾り初めの縄やカレンダーづくりなどを予定している。問総曲輪レガートスクエア原課長☎076（461）3332（向川敏悠君）

▲北陸中日新聞　2018年12月24日（月）
総曲輪レガートスクエア「Bamboo saves the earth」

▲会報

５．賛助会員・寄付状況

■月別賛助会員・任意寄付者件数（個人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
登録件数	14	12	7	3	5	7	9	5	3	4	23	5	97	−51

■月別賛助会員・寄付件数（法人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
登録件数	9	5	3	4	1	1	0	1	3	3	1	2	33	4

■賛助会員構成

	件数	金額
個人	97	294,000
法人	32	225,000
合計	129	519,000

■任意寄付構成

	件数	金額
個人	0	
法人	1	5,000
合計	1	5,000

※個人98口　法人45口

■年度別賛助会員件数推移　※2012年度は11月～3月分

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
個人	115	137	157	232	150	148	**97**
団体	0	24	27	24	26	29	**32**
合計	115	161	184	256	176	177	**129**

追記と課題

賛助会員個人が大幅に減少。特に飛騨地域住民からの寄付が少ないことが課題。
次年度は、飛騨地域の市民・企業・団体からの寄付を集められるよう取り組む。

5－2　受賞歴

客観的評価を受けることで、自団体の活動の振り返りと広く社会に向けた情報発信を実施

●事業概要

まちスポは自団体の活動を振り返る機会として、自薦・他薦問わず各種機関が開催する表彰へのエントリーに挑戦している。この機会を通して、広く社会に向けて地方におけるNPO団体の活動を情報発信する機会となっている。

●2018年度受賞内容

表彰名	第7回まちづくり法人国土交通大臣表彰 審査委員長賞
日付	2018年5月21日
主催	国土交通省
内容	地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させる先進的な取組を行っているまちづくり法人を表彰し、好事例として広く紹介することにより、各地のまちづくりに向けた取組が一層推進されることを目的に創設された表彰
掲載	http://www.mlit.go.jp/report/press/toshi05_hh_000214.html

▲2018年7月4日（水）
高山市役所にて行われた表彰式の様子。
国土交通省中部地方整備局の西口氏と高山市副市長の西倉氏にお越しいただき、当団体共同代表が出席。

表彰名	CSOアワード2018 CSO賞
日付	2018年11月18日
主催	認定NPO法人大阪NPOセンター
内容	市民の自発的・公共的な活動により社会変革をめざす市民社会組織(CSO※)を対象とする、多くの団体を応援する表彰 ※「市民社会組織(CSO：Civil SocietyOrganization)」とは、コミュニティビジネスのみならずNPOのようなテーマ型組織や、自治会やPTAのような地縁型組織を含む言葉。
掲載	http://osakanpo-center.com/cso_aword.php

▲2018年11月17日（日）
発表会と授賞式には代表理事、理事、スタッフが出席。